

## ミニ音楽劇 台本（上演時間・30分程度）

合唱とお芝居を組み合わせ、短いミュージカル仕立ての劇を作りました。

子どもたちになじみのある曲を組み合わせ、親しみやすく楽しめるよう、工夫しています。

ゲストの先生（大人）がいない場合は、別の役・曲（歌が好きな小鳥や動物など）に差し替えてください。

また、フランス・アメリカなどの国を別の国にして、歌も別の国の歌にするといったアレンジができます。

役：こびとA、こびとB、こびとC、ナレーター、  
ドラえもん、ゲストの先生（おとな）  
係の人：2人くらい  
小道具：桃、どこでもドア（布などで作る）、旗

### ●劇を始める準備

こびとたちは、旗を準備して、（ポケットなどに入れる）3列くらいにならぶ。ナレーター、こびとA  
BCはみんなの前に立つ

ドラえもんは桃を背中に貼って、お客さんに背を向けて座る

ナレーター　むかしむかし　森の奥ふかく、歌の大好きなこびとたちが住んでいました。こびとたちは毎日歌を歌いながら楽しくらしておりました。  
ある日、こびとたちは、森で大きな桃を見つけました

こびとA　「あれ、大きな桃が落ちてるよ」

こびとB　「割ってみよう」

ナレーター　大きな桃を割ると、中から青いネコ型ロボットがあらわれました  
※ドラえもん　前をむく

ドラえもん　「助けてくれてありがとう。わるい魔女に、桃の中に閉じ込められていたんだ。お礼に、あなたたちの夢をかなえてあげるよ。」

こびとC　「わたしたちの夢は、歌をたくさんの人に聞いてもらうこと！」

ドラえもん　「よし、じゃあどこでもドアででかけよう」（ドアを出す）

♪夢をかなえてドラえもん（2部合唱）

歌いながら　こびとABCドアをくぐる→※（係の人）ドアを舞台そでにかくしておく

こびとA　「ここはどこだろう？」

ドラえもん 「フランスだよ！」  
こびとB 「ノートルダムの大聖堂、火事になってしまったけど、みんなで祈りしよう！」  
♪ドナ・ノービス・パーチェム（アカペラ、輪唱）

ドラえもん 「さあ次の国は…」→ドアを出す  
★みんな 「アメリカだ！」アメリカ国旗、ネズミの絵の旗を振る  
♪ミッキーマウスマーチ（振付）

ドラえもん 「キャー、ねずみ、怖い！」（→ドラえもん、部屋の外へ逃げる）  
ナレーション ねずみがきらいなドラえもんは、こびとたちをおいてどこかへ行ってしまいました。  
こびとC 「えーんえーん、おうちに帰りたい」  
こびとA 「困ったな、どうしたら帰れるんだろう」

ゲストの先生 「きみたち、どうしてそんなにしょんぼりしているんだい？ 僕の歌を聞いて、元気をだ出して！」  
♪オーソレミーオ（ゲストの先生が歌う）

みんなで 拍手  
こびとA 「なんだか元気が出てきたよ」  
こびとB 「そうだ、みんなで歌おうよ！歌うと楽しくなるよ」  
こびとC 「歌うと元気が出るよ」  
★みんな 「そうだ、うたおう！」  
♪パプリカ（ダンス）

※舞台袖からどこでもドアを出して、こびとCの前に置く（係の人）

こびとC 「あ、これは」…歌が終わって、なにかをみつけてひろう  
こびとB 「どこでもドアだ。これで森へ帰れる！」

みんなでドアをくぐる。ゲストの先生 手をふりながらこびとたちを見送り。

ナレーション こうしてこびとたちは、森へ帰ることができました。  
こびとA 「帰ってこられて、よかったね」  
こびとB 「ふるさとの森が一番だね。」

♪ふるさと（2部合唱）

【あいさつ：これで、音楽劇を終わります】